

県ホームページ(置賜総合支庁: http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo)でもご覧頂けます。

平成29年6月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.152



南陽のバラまつり(双松バラ園)米沢盆地が一望できる双松バラ園では、およそ340種、約6千本のバラが咲き誇ります。オールドローズの品種が多い園内は、甘く優雅な香りに包まれ“香りのバラ園”として親しまれています。期間:6/1(木)~7/5(水)(地域産業経済課観光振興室)

特集 源流の森オープニングイベントについて

5月14日に、「源流の森オープニングイベント」が盛大に開催されました。

オープニングイベントでは、緑のプレゼントのほか、クラフト体験、冒険体験、陶芸体験、里山トレッキング、キノコの植菌体験、木のぼりツリーイングなど多彩なイベントが開催され、どれも大変好評でした。

また、当日午前中は白川ダム湖畔において、「全国白川ダム湖畔マラソン」(主催:飯豊町)も開催され、源流の森エリア内をたくさんのランナーが、さわやかな新緑を楽しみながら駆け抜けていきました。



緑のプレゼント



クラフト体験

源流の森では、常設プログラムとして、遊歩道を散策する「森林教室」、アドベンチャーコースを使い、仲間と一緒に様々な冒険にチャレンジする「冒険教室」、本格的な陶芸を体験できる「陶芸教室」、自然素材を使って様々なクラフト作品をつくることのできる「もくもくクラフト教室」などを準備しておりますので、ぜひ、ご家族でご来園ください。

● 問合せ先: 源流の森センター 0238-77-2077

㊦ 森林整備課森づくり推進室 0238-35-9053

トピックス 置賜地域の経営者に向けて知事が県政運営方針を講演 ㊦ 総務課 0238-26-6006



講演する吉村知事

4月14日に、企業経営者などを会員とする米沢・置賜経済人クラブの4月例会がホテルモントビュー米沢で開催され、吉村知事が「平成29年度の県政運営について」と題して講演を行いました。

知事は、「郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり」など7つの柱を掲げた、今後4年間の県づくりの実行計画となる短期アクションプラン(H29~32)を着実に推進するため、6132億円を計上した29年度当初予算のねらいや主要施策・事業を説明。

「心の通う温かい県政」の基本姿勢と、県民視点・対話重視・現場主義のもと、県の将来ビジョンである「自然と文明が調和した新理想郷やまがた」の実現に向けて官民一体となって取り組んでいくとし、経済界からの理解と協力をお願いしました。



多くの経営者が来場

トピックス 知恵袋委員会の委員委嘱状交付式

㊦ 総務課連携支援室 0238-26-6020

5月19日に、知恵袋委員会の委員委嘱状交付式を、県庁講堂で開催しました。

県では、子育て、安全・安心な社会づくり、産業振興など、様々な分野において長年の経験に基づいた知恵や知識を県政に反映させていくために、知恵袋委員会を設置しています。

平成29年度
山形県知恵袋委員会委員
~置賜地域~

大友 恒則 さん(米沢市)
岡崎 利勝 さん(米沢市)
工藤 友子 さん(長井市)
角屋 きくゑ さん(米沢市)
御田 伸一 さん(高畠町)
渡部 恭子 さん(飯豊町)

吉村知事は、人口減少問題を克服し、地域の成長力を確保することで「やまがた創生」を推進する考えを示し「皆さんの知恵、知識は山形県づくりの大きな原動力になる」とあいさつを述べ、置賜地域からは6名の委員の方々に知事から委嘱状を交付しました。

なお、今後、委員会を開催し、県政に関わる地域の課題等について、委員の皆様からご意見やご提案をいただくことになっています。



日本では、1日約4人の方が新たにHIVやエイズと診断されています。

平成28年に全国で新たにHIV感染者・エイズ患者とわかった方は1,440名おり、そのうち約3割が、エイズを発症して初めてHIVに感染していることが発覚した「いきなりエイズ」というケースでした。

HIVの感染経路は、主に①性行為、②血液を介して、③母子感染の3つであり、日本では感染経路のほとんどが性行為です。

HIVは、ふだんの生活ではうつらないことがわかっており、むやみに怖がることはありませんが、感染しやすい行為をすれば、だれでもうつる可能性があり、他人ごとではない「自分の問題」と考えることが大切です。

HIVは感染してからしばらくの間は症状がないため、HIV感染を判断できるのは検査だけです。まずは検査を受けてみましょう。



エイズは予防できる病気です。

6月2日(金) エイズ夜間無料検査のお知らせ

置賜保健所では、HIV検査普及週間に合わせて、下記の日程で時間を拡大して相談・検査を実施します。

- 日時 6月2日(金) 13:00~20:00
- 場所 置賜総合支庁 1階(米沢市金池7-1-50)
※置賜保健所は、4月から置賜総合支庁本庁舎内に移転しましたので、ご注意ください。
- 内容 *検査項目：HIV(エイズ)検査<血液検査>
→結果は当日(採血から約40分後)お伝えします。
*無料・匿名で受けられます。
*事前に電話で予約をお願いいたします。
- 検査予約・お問合せは
生活衛生課 感染症予防担当 0238-22-3002

事業報告 「おきたま元気創造ラボ」の設立会議を開催

☎総務課連携支援室 0238-26-6019

置賜地域では、今年度、東北中央自動車道(福島大笹生~米沢北間)が無料区間として開通する予定です。このチャンスを最大限に活かし、市町や住民の方と繋がり、「オール置賜」で地域の魅力を発信していきます。

その一つとして、次代を担う若者の自由な発想で置賜の魅力を発信し、地域の活性化をはかるべく、地域づくりや産業発展に取り組む地元の若者と市町の若手行政職員を中心に「おきたま元気創造ラボ」を4月21日に設立しました。(当初名称を「(仮称)おきたま若者会議」としておりましたが、出席者の発案により「おきたま元気創造ラボ」に決まりました。)

会議では、取組みの企画を行う「コアメンバー」の委嘱を行った後、置賜地域の現状を確認し、具体的な取組みの進め方について共有を図りました。

今後は、ワークショップの手法を用いて、「おきたま元気創造ラボ」のマスタープラン(行動計画)を作成し、その実現に向け必要な手段や役割分担について、コアメンバーを中心に考えていきます。

コアメンバー委嘱



知って得する情報

やまがた百名山について

昨年度、8月11日が「山の日」として祝日になったことにあわせ、山形県では地域で身近に親しまれている里山や、健康づくりのウォーキング等で活用されている山、古くから山岳信仰の対象として人々の生活に密接に関わってきた山々を「やまがた百名山」として選定しました。

それぞれの山々は、地域の宝であり、四季折々の魅力にあふれています。山形県民が誇るそれらの山々を山形県では、ホームページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。また、やまがた百名山を撮った写真を近日募集する予定です。



飯豊山



URL : <http://yamagatayama.com/>

山形県山岳情報ポータルサイト

☎環境課 0238-26-6035

夏の省エネ県民運動実施中



エネルギー消費が増大する夏季(6月~9月)において、熱中症など健康に十分気を付けて、無理のない範囲でのご協力をお願いします。

スローガン

「早寝早起き 家族団らん 笑顔で省エネ」

家庭のできる取組み例

冷房時の室温は28℃を目安にする、冷蔵庫にものを詰めすぎない、テレビを見る時間を1時間減らす、シャワーの使用を1分間短縮する など

今年度の主な取組み

- 7月~9月の電気使用量の削減目安
 - ・平成25年度対比1%
- 省エネポスター、川柳・標語の募集
 - ・募集期間:7月上旬~8月下旬(予定)

☎環境課 0238-26-6102

● 猫の被害にお困りの方へ

置賜保健所では、猫を捕獲して保護することはできませんので、個人で猫の侵入防止対策を行ってもらうこととなります。



● 猫が庭などに入らないようにするには

その猫にとってその場所が快適でなくする方法として、市販忌避剤や食用酢、木酢液、コーヒーかす等の臭いのあるものを使用する方法(※)や、猫を感知して追い払う超音波機器(ガーデンバリア)等を使用する方法等があります。保健所ではガーデンバリアの貸し出しを行っております。(※臭いのきついものもあるので注意が必要。)

● 地域での相互理解も大切

猫の世話をしている人に地域の方が困っていることを理解していただくことが必要ですので、一方的にならないよう、「むやみなエサやり禁止」チラシを回覧板で周知する対応も一つの方法です。チラシ等は保健所にありますので、ご相談ください。

犬ねこの譲渡前講習会のご案内

この講習会は、置賜保健所が引取り等した犬やねこを譲渡する前に、希望者に受けていただくものです。

■日時：毎月第3木曜日

14:00～(約1時間)

■場所：置賜保健所分庁舎

(米沢市金池三丁目1-26)

※事前に電話でお申し込みください。



保健だより

熱中症

～ご存じですか？症状と正しい予防策～

今後梅雨明けとともに気温が上昇してくる時期に入ります。これからの時期に生じやすい熱中症は、めまいや立ちくらみ、頭痛や吐き気といった症状があります。ひどくなると、ふらついてまっすぐ歩くことができなくなったり、意識を失ったり、けいれんが起きたりします。

熱中症は日中の屋外で起きると思われがちですが、屋内や夜間でも熱中症になることがあります。予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が重要です。こまめな水分・塩分補給、服装の調節、エアコンを適切に使用するようにしましょう。屋外では帽子・日傘で日光を遮ることも大切です。

高齢者や乳幼児は特に注意が必要となり、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をし、暑さを感じなくても扇風機やエアコンなどで温度調節することを心がけましょう。正しい知識を持ち、熱中症を防ぎましょう。



保健企画課 0238-22-3004

募集案内

再生可能エネルギー設備導入事業費補助金について

県では、家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図るため、太陽光発電設備やペレットストーブ等を導入する方に対して助成を行っています。

ぜひ、ご活用ください。

■受付期間

平成30年2月28日(水)まで

※予算額に達した時点で終了

■受付窓口

特定非営利活動法人

ビルトグリーンジャパン [県委託先]

住所：〒990-0061 山形市五十鈴3-11-37

TEL：023-673-9501

URL：<http://www.builtgreen-jp.org/index.html>

環境課 0238-26-6102



障がい者森林活動案内ボランティア養成講座
障がい者森林体験

■いつ 6月27日(火) 10:00～12:00

■どこで ハケ森自然公園 (長井市今泉)

■だれが 障がいのある方と森林案内ボランティア等

■なにを 置賜の身近な自然と一緒に体感します

● 10:00 集合

● 10:30 出発

* ゆったりコース

展望台までの散策

* おさんぽコース

展望台、八幡清水まで散策

● 12:00 解散

自由昼食



ハケ森自然公園

■お申し込みは

置賜総合支庁 地域保健福祉課

電話 0238-26-6028

FAX 0238-24-8155

※ご注意 荒天の場合は、中止します。



イベント情報

置賜文化ホール自主事業 AKASAKA木管五重奏団

AKASAKA木管五重奏団は、「クラリネットの貴公子」赤坂達三を中心に2015年に結成されたグループです。

これまでの木管五重奏のイメージを一新するヴィルトオーズたちの至芸による最高のアンサンブルをぜひご期待ください。



- 日時：8月19日(土)
13:00開場 13:30開演
- 会場：置賜文化ホール
(米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-2666)
- 料金：全席指定 一般2,500円 学生1,000円
(当日 各500円増)※未就学児の入場不可
- チケット取扱：伝国の杜、大沼米沢店、米沢楽器店
こまつ書店堀川町店、音楽アズム館米沢店
- その他：託児サービスあり(利用料1,000円)
※8月10日(木)までお申し込みください。

☎総務課連携支援室 0238-26-6021

「山形おきたま産直市」朝市を開催します

「東南置賜直売ネットワーク」(農産物直売組織8組織で構成)による朝市を6月3日から開催します。

会員が新鮮な野菜や果物、自慢の漬物やお菓子等の加工品、花などを各種取り揃えて皆様をお待ちしています。生産者とふれあいながら置賜の味をお楽しみください。



- 期日 6～11月の毎月第1土曜日と8月11日(山の日)
(6/3、7/1、8/5、8/11、9/2、10/7、11/4)
- 時間 8:00～9:00
- 場所 置賜総合支庁本庁舎玄関前
(米沢市金池7-1-50)



ご来場の方へサービス!

- ①スタンプラリーでプレゼント
毎回の購入時にスタンプを1個押します。
3個以上集めた方に、11月の抽選会でプレゼントを差し上げます。
- ②さなぶり餅の振舞い
初回開催日(6月3日)に行います。

☎農業技術普及課 0238-57-3411

お知らせ

山形県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動について

薬物乱用が社会問題となっている状況下、官民一体となり、この問題に対する認識を高め、国連総会決議に基づく「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」を周知するため、ヤング街頭キャンペーンを開催します。

当日は、ボランティアによる募金活動やパンフレット等の配布を行うほか、違法薬物の見本やパネル展示も行います。また、かねたんも来場して「ダメ。ゼッタイ。」をPRする予定ですので、皆様の多数の参加をお待ちしています。



6・26ヤング街頭キャンペーン

- 日時：7月2日(日)13:00～14:30(予定)
- 場所：イオン米沢店(米沢市春日2-13-4)

☎保健企画課 0238-22-3872

熊に注意!

初夏は、溪流釣りや山菜採り、農林作業などで山に入る機会が多くなりますが、クマにとっても餌探しで活発に動き回る季節でもあります。例年6月～7月はクマの出没・目撃件数が急激に増えます。



次のことを認識し、遭遇した場合には冷静に対応してください。

- クマから見れば人は侵入者です。
- ラジオやクマ鈴など音の出るもので自分の存在をクマに知らせましょう。
- 子グマに出会ったら近くに母グマがいます。大変危険です。注意してください。
- 万一出合ってしまったら、背を向けずにゆっくり後退してください。
- 食べ物や生ゴミを山に残さないでください。



☎環境課 0238-26-6035

発行元

置賜総合支庁 総務企画部
総務課 総務係

TEL 0238(26)6004
FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま



生活衛生課では、食の安全安心の確保や健康を守るイベント、「月間」や「週間」など年間を通じて様々な実施しています。HIV検査普及週間(6月)、夏期・年末食品等監視強化月間(7月、12月)、肝臓週間(7月)、結核予防週間(9月)食肉衛生月間(9月)、動物愛護週間(9月)、きのこ中毒予防月間(10月)、世界エイズデー(12月)など多岐にわたっています。4月から6月は毒草の誤食による食中毒が多くなります。ここでクイズ。写真の3種の植物のうち、「食べられる」野草はどれ?(生活衛生課)

食用は右の「ギョウジャニンニク」。左「イヌサフラン」と中央「スズラン」は、誤食で死亡例もある毒草です。